

マーケットの動き（2024年1月22日～1月26日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は前週の米国株高を背景に国内株式も上昇しましたが、次回以降の日銀金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除するとの思惑が広がると上値の重い展開となりました。その後、米国半導体大手の急落を受け国内半導体関連株も売られたほか、月末のFOMC（米国連邦公開市場委員会）を前に持ち高調整で売られ、国内株式は下落して週を終えました。

投資環境見通し（2024年1月）

国内株式相場の上値は重い

企業業績については、中国景気減速の影響を受ける企業もみられますが、日銀短観では企業景況感の幅広い改善が確認されており、下振れの可能性は低いとみています。国内株式相場は日本政府による所得減税に加えて、1月から始まる新NISAを通じた個人投資家の資金流入が下支えになるとみていますが、米国景気の減速や円高が懸念されることに加え、政局を巡る不透明感も短期的に影響し、上値の重い展開を予想しています。

	1月26日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,497.65	▲0.49%	6.79%	9.40%	26.25%
日経平均株価	35,751.07	▲0.59%	7.34%	9.44%	30.66%

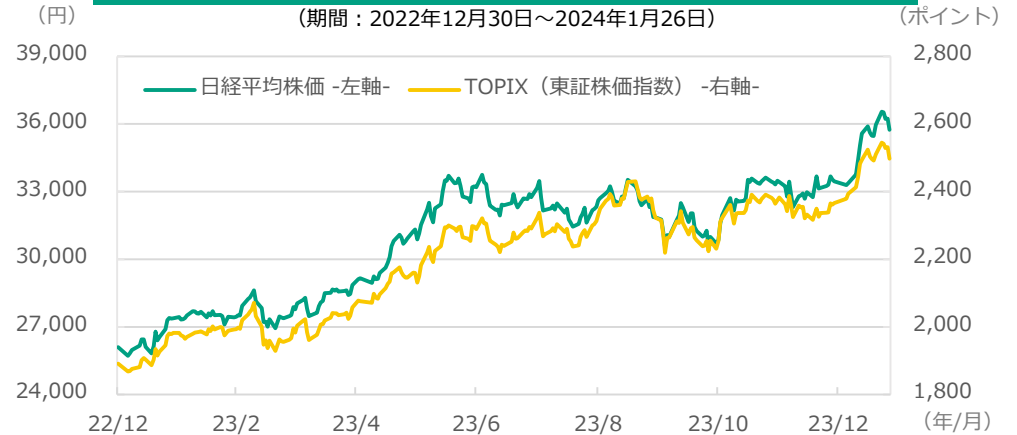
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

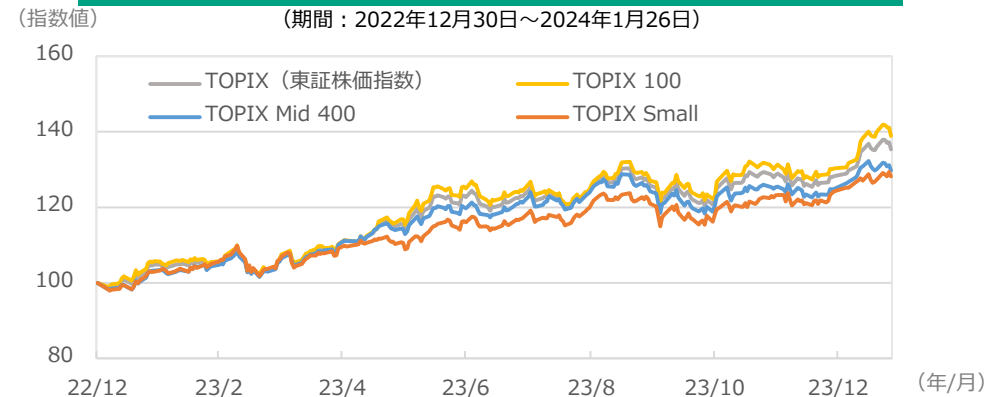
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202401_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2022年12月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成